

第7回 道路の将来交通需要推計に関する検討会 議事要旨

平成20年11月13日(木) 15:00~17:00

虎ノ門パストラルホテル 新館6階 ペーシュの間

<出席委員(敬称略、五十音順)>

石田委員長、岡本委員、鈴木委員、豊田委員、根本委員、原田委員、兵藤委員
佐藤(信)臨時委員、谷口臨時委員

<議事要旨>

1. 新たな推計モデルについて

- ・通学目的トリップの乗用車分担率について横ばい傾向と表現されているが、実際には昔に比べると子供が送迎されている例が増加しているように感じられる。現在の調査体系においては送迎は私用目的に含まれているが、今後の調査においてそういった傾向を留意すべきである。
- ・提示されたモデルは、これまでの議論を踏まえたものであるとともに、将来交通量予測のあり方に関する検討委員会の指摘事項との整理もできているものと考えられるので、本資料の内容について検討会の成果としたい。

2. 燃料価格と交通量の関係について

- ・長期的な燃料価格の予測は困難であること、燃料価格の影響を見た本モデルと資料1で検討しているモデルの考え方が全く異なることから、これらをどう組み合わせるかは難しい問題である。
- ・モニタリングを行いながら必要に応じて推計モデルを見直すこととしつつ、資料1の推計モデルで出てくる結果に対して、本モデルで得られる結果を加味する、という方法を検討会の結論としたい。

3. パブリックコメントについて

- ・「1.6 今後の道路政策について」というタイトルは本検討会として提言すべき内容ではないと思われるので、表現を見直してほしい。
(その他、何点か修正意見有り)
- ・本日の議論を踏まえた修正を行った上でパブリックコメントを実施することとする。具体的な修文については委員長に一任する。
- ・パブリックコメントについては、インターネット上で実施するとともに、記者発表を行う。
- ・パブリックコメントの結果を踏まえた報告書(案)を事務局で作成し、次回検討会に諮ることとしたい。